

令和7年度における未来都市創造に関する特別委員会の運営について（案）

1. 委員会の目的

神戸が将来にわたり魅力あふれる都市として輝き発展していけるよう、人口減少社会も見据えた新たな時代の神戸のまちづくりに関する必要な事項について調査する。

2. 令和7年度の運営方針・調査テーマ案

- (1) 「新国際都市・神戸 ～多様な人材が活躍できる都市を目指して～」をテーマに、以下の2点を軸に調査・議論を行う。具体的な活動内容については理事会において議論する。
 - ① 訪日外国人への対応、観光施策・国際交流の促進
 - ② 在住外国人との相互理解を中心とした多文化共生
- (2) 委員会は、参考人招致、行政調査等を行う。
- (3) 委員会での調査活動を踏まえて提言を行い、市民報告会を開催する。

〔スケジュール案〕

令和7年8月～12月頃	参考人招致、行政調査等
令和8年1月～3月頃	調査結果に基づく委員間討議
令和8年4月頃	市長提言、市民報告会開催

3. 基本的な運営方法

- (1) 常任委員会との役割分担に留意しながら、調査・議論を深めることとする。
- (2) 必要に応じて調査テーマ等に関連する施策・事業の進捗状況等について所管局の報告を求める。
- (3) 必要に応じて所管局の局部課長の出席を求める。なお、調査テーマによっては、関係する外郭団体に派遣している現職局部課長の出席を求める。
- (4) 定席表は、理事と委員を分けずに大会派順とする。
- (5) 委員でない議員が委員会で発言しようとするときは、委員会開会までに、別紙「委員外議員発言申出書」により委員長に申し出る。発言の許否は、委員長が委員会に諮って決定する。発言が許された場合の委員外議員の発言は、委員の発言が全部終了した後に行い、委員間討議においても同様とする。

年 月 日

委 員 外 議 員 発 言 申 出 書

委 員 会

委 員 長 様

市会議員

㊟

月 日の 委員会に出席して、下記事項について発言いたしたいので、
許可されるよう、会議規則第52条第2項の規定により申し出ます。

記

発言内容

1 令和6年度の活動実績

神戸が将来にわたり魅力あふれる、活気あふれる都市として存続していくための重要なテーマとして、「子育て世帯に選ばれ住み続けたいまちづくり」を取り上げ、幅広い観点から調査・議論を行った。委員自身が直接当事者の生の声、意見を聞くフィールドワークや委員間討議等を踏まえて、子育て世帯に選ばれ住み続けたいまちになるために必要な3つの視点を挙げた報告書を取りまとめ、市民報告会を開催した。

<活動実績>

[当局との意見交換]

令6. 10. 25 企画調整局との意見交換

データ利活用、子育て支援策、雇用政策、住宅政策について説明を聴取し、当局の取組状況や政策に対する考え方などを確認した。

[フィールドワーク]

実施日	調査先	調査内容
令7. 1. 19	2025年神戸市はたちを祝う会	代表スタッフとの意見交換
令7. 1. 21	おやこふらっとひろば名谷	利用者へのヒアリング
令7. 1. 21	神戸名谷ワークラボ SUMAile	就業者との意見交換

(うち、アンケート調査)

実施期間	調査先	調査内容
令7. 1. 14～令7. 1. 31	市立高校2年生	結婚、子育て等に関する高校生意識調査
令7. 1. 10～令7. 1. 24	市内企業・事業者	若者及び子育て世代の雇用に関する調査

[フィールドワークの実施結果について、活動報告についての委員間討議]

令7. 3. 12、令7. 4. 9、令和7. 4. 16

<市民報告会開催>

令7. 5. 22 本会議場にて（市民28名が参加）

内容：委員会活動報告等

2 令和5年度の活動実績

全国的な人口減少トレンドの中で、DX・働き方改革の進展等も踏まえながら、「定住人口の増加」「人口減少対策」につながる魅力ある神戸のまちづくりや、未来志向の都市政策のあり方を基本テーマとし、幅広い観点から調査・議論を行った。参考人からの意見聴取や委員間討議等を踏まえて、提言書「人口減少社会を見据えた新たな時代の神戸のまちづくり」をとりまとめ、市長に提出するとともに、市民報告会を開催した。

<審査実績>

[参考人からの意見聴取]

開催日	参考人	聴取内容
令5. 9. 6	中央大学文学部 山田昌弘 教授	少子化対策は失敗したのか
令5. 11. 2	島根大学法文学部 関耕平 教授	住民とともに進める持続可能な地域づくり 一都市と農村の協働・発展をどう切り開くか
令5. 11. 15	川崎重工業株式会社執行役員 ・技術開発本部副本部長 加賀谷博昭 氏	人口減少社会を見据えたAI活用による 地域活性化の可能性について
令5. 11. 27	合同会社公共コミュニケーション研究所代表 ・東海大学文化社会学部教授 河井孝仁 氏	シティプロモーションを考える

[提言についての委員間討議]

令6. 1. 19、令和6. 2. 7、令6. 3. 12

<行政調査>

令5. 12. 12

調査先	調査内容
岡山県奈義町	子育て支援策・地方創生事業の取り組み等について なぎチャイルドホームについて（現地視察）
一般社団法人奈義しごとえん	しごとコンビニ事業について

<提言書提出>

令6. 4. 8 提言書「人口減少社会を見据えた新たな時代の神戸のまちづくり」を市長に提出

<市民報告会開催>

令6. 4. 16 本会議場にて（市民32名が参加）
内容：委員会活動報告、提言書の内容等

3 令和4年度の活動実績

令和3年度の提言で取り上げた「神戸ならではの歴史や地形を活かしたまちづくり」をさらに掘り下げ、「歴史的資源を活かしたまちづくり」について幅広い観点から調査・議論を行った。参考人からの意見聴取や先進事例の現地調査、委員間討議等を踏まえて、提言書「歴史的資源を活かしたまちづくり」をとりまとめ、市長に提出するとともに、市民報告会を開催した。

<審査実績>

[参考人からの意見聴取]

開催日	参考人	聴取内容
令4. 11. 17	園田学園女子大学 田辺真人 名誉教授	歴史的資源を活かしたまちづくり

[提言についての委員間討議]

令4. 12. 19、令5. 1. 16、令5. 1. 31

<現地視察>

令4. 8. 19 下谷上農村歌舞伎舞台、西国街道、湊川神社、花隈城跡
(講師：園田学園女子大学名誉教授 田辺真人氏)

<行政調査>

令4. 12. 12 ～ 令4. 12. 13

調査先	調査内容
広島電鉄株式会社	広島版 MaaS「MOBIRY (モビリー)」等について
まちなか西国街道推進協議会	西国街道の歴史と文化を活かした新たな賑わいづくりについて
株式会社 NOTE	地域に眠る歴史資源を活かしたまちづくりについて

<提言書提出>

令5. 2. 8 提言書「歴史的資源を活かしたまちづくり」を市長に提出

<市民報告会開催>

令5. 3. 24 本会議場にて (市民29名が参加)
内容：委員会活動報告、提言書の内容等

4 令和3年度の活動実績

新型コロナウイルス感染症を契機に、新たなライフスタイルが生まれ、多様なサービスが活用される中で、「災害に強く、様々な危機にしなやかに対応できる回復力・復元力（レジリエンス）の高いまちづくり」や「神戸ならではの歴史や地形を活かしたまちづくり」をテーマに、幅広い観点から調査・議論を行った。関係局からの報告聴取に加え、参考人からの意見聴取や委員間討議等を踏まえて、提言書「様々な危機にしなやかに対応できる神戸のまちづくり」をとりまとめ、市長に提出するとともに、市民報告会を開催した。

<審査実績>

[参考人からの意見聴取]

開催日	参考人	聴取内容
令3. 9. 29	建築設計集団 ALTEMY 代表・建築家 津川恵理 氏	パフォーマティブな公共
令3. 11. 26	西日本鉄道株式会社 自動車事業本部未来モビリティ部 モビリティサービス担当課長 日高悟 氏	西日本鉄道の MaaS に関する取り組み ※オンライン開催
令3. 12. 13	園田学園女子大学 田辺真人 名誉教授	歴史や地形を活かした神戸の街づくり ー神戸駅前広場などー
令4. 1. 31	東京工業大学環境・社会理工学院 朝倉康夫 教授	三宮クロススクエアの交通課題 ※オンライン開催

[当局からの報告聴取]

令3. 10. 29 都心・三宮再整備について

[提言についての委員間討議]

令4. 2. 16、令4. 3. 30、令4. 4. 14、令4. 4. 27

<提言書提出>

令4. 5. 13 提言書「様々な危機にしなやかに対応できる神戸のまちづくり」を
市長に提出

<市民報告会開催>

令4. 5. 27 本会議場にて（市民28名が参加）
内容：委員会活動報告、提言書の内容等

5 令和2年度の活動実績

提言書「2050 年を見据えた神戸のまちづくり」での指摘を踏まえ、新型コロナウイルスがもたらす「ニューノーマル（新常態）」に対応したまちづくりに向けて、三宮再整備やこれに関連する事業のコンセプトが従来通りでよいのか、今後の神戸全体のまちづくりのあり方にどのような変化が起こるのか、感染症に強いまちづくりはどうあるべきかなどについて、幅広い観点から調査・議論を行い様々な課題を調査した。関係局からの報告聴取に加え、参考人からの意見聴取や委員間討議等を踏まえて、提言書「ポストコロナ時代に適合した持続可能な神戸のまちづくり」をとりまとめ、市長に提出した。

< 審査実績 >

[参考人からの意見聴取]

開催日	参考人	聴取内容
令 2. 11. 9	WHO 健康開発総合研究センター 医官 茅野龍馬 氏	新しい三宮に推奨される新しいコンセプト ～感染症対策の観点から～
令 2. 12. 9	アクセント・イノベーションセンター福島 センター共同統括 中村彰二郎 氏	Smart City による自立分散社会の実現へ 市民・地域主導によるデジタルイノベーション ※オンライン開催
令 3. 1. 13	東京大学大学院 工学系研究科社会基盤学専攻 羽藤英二 教授	神戸をもう一度つくる ※オンライン開催
令 3. 1. 22	早稲田大学理工学術院 社会環境工学科 森本章倫 教授	New Normal 時代（アフターコロナ）の 新しい都市計画の展望 ※オンライン開催

[当局からの報告聴取]

令 2. 11. 9 都心・ウォーターフロントにおける新たな公共交通システムの導入
(連節バスの本格運行)、三宮駅周辺歩行者デッキ設計競技 (コンペ)
の実施、及び JR 三ノ宮駅ビルについて

[提言についての委員間討議]

令 3. 2. 17、令 3. 3. 30、令 3. 4. 8、令 3. 4. 22

< 提言書提出 >

令 3. 4. 26 提言書「ポストコロナ時代に適合した持続可能な神戸のまちづくり」
を市長に提出

6 令和元年度の活動実績

三宮再整備事業の事業期間が概ね 30 年間で、段階的にまちの再整備を進めていく事業であることから、30 年後である 2050 年の神戸が生き生きとした魅力あふれるまちであるためにはどんな視点が必要なのか、様々な観点から調査・議論を行った。関係局からの報告聴取に加え、参考人からの意見聴取や委員間討議、他都市の先進事例の現地調査等を行い、これらの活動を踏まえて、提言書「2050 年を見据えた神戸のまちづくり」をとりまとめ、市長に提出した。

< 審査実績 >

[参考人からの意見聴取及び委員間討議]

開催日	参考人	聴取内容
令 1. 10. 25	総合地球環境学研究所 西條辰義 特任教授	フューチャー・デザイン：持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐために
令 1. 11. 18	一般財団法人計量計画研究所 理事 牧村和彦 氏	新モビリティ社会と交通まちづくり
令 1. 12. 13	西日本電信電話株式会社 ビジネス営業本部クラウドソリューション部 ビジネスイノベーション営業推進担当部長 井口法文 氏 西日本電信電話株式会社 兵庫支店長 川副和宏 氏	Society5.0 に向けた ICT の活用による地域課題の解決

[当局からの報告聴取]

令 1. 8. 22 「神戸市役所本庁舎 2 号館再整備基本計画（案）」及び

「三宮クロススクエア」交通社会実験について

令 2. 2. 17 都心・三宮再整備の進捗状況について

[提言についての委員間討議]

令 2. 2. 17、令 2. 3. 17、令 2. 6. 11

< 行政調査 >

令 2. 1. 30 ～ 令 2. 1. 31

調査先	調査内容
名古屋大学	新たなモビリティサービスと移動手段の多様化について
川崎市	駅前のまちづくりとミュージアム川崎シンフォニーホールの運営

< 提言書提出 >

令 2. 6. 17 提言書「2050 年を見据えた神戸のまちづくり」を市長に提出

7 平成 30 年度の活動実績

三宮再整備事業の進捗に伴い、新たな課題が浮かび上がってきたことから、あらためて議会の立場から提言を行うことを目指し、都心・三宮周辺地区を中心に調査・議論を行った。関係局からの報告聴取に加え、参考人からの意見聴取や委員間討議、他都市の先進事例の現地調査等を行い、これらの活動を踏まえて、全 19 項目の提言書「未来都市神戸の創造に向けて」を取りまとめ、市長に提出した。

< 審査実績 >

[参考人からの意見聴取及び委員間討議]

開催日	参考人	聴取内容
平 30. 10. 29	大阪市立大学大学院工学研究科 嘉名光市 教授	大都市ターミナル駅周辺のまちづくり
平 30. 11. 22	三菱地所株式会社 開発推進部エリアマネジメント推進室長 兼 大丸有エリアマネジメント協会事務局長 藤井宏章 氏	エリアマネジメントによる街づくり

[当局からの報告聴取]

平 30. 10. 29 都心・三宮再整備の進捗状況について

[提言についての委員間討議]

平 30. 11. 22、平 30. 12. 26、平 31. 1. 21

< 行政調査 >

平 30. 12. 17 ～ 平 30. 12. 18

調査先	調査内容
文京区	文京シビックホールについて
柏の葉アーバンデザインセンター	アーバンデザインセンターについて
大丸有エリアマネジメント協会	エリアマネジメントについて

< 提言書提出 >

平 31. 3. 19 提言書「未来都市神戸の創造に向けて」を市長に提出

8 平成 29 年度の活動実績

都心・三宮周辺地区の再整備において、特に多様な立場の視点に立ったまちづくりを基本コンセプトとして、集中的に審議し、参考人からの意見聴取や委員間討議、都心三宮推進本部からの報告聴取などを行った。また数十年後に必要となるインフラ等について、障がいの有無にかかわらず、すべての人々にとって移動しやすい多様な立場の視点に立ったまちづくりについて見識を深めるため、官民それぞれの先進事例について調査を行った。

< 審査実績 >

[参考人からの意見聴取及び委員間討議]

開催日	参考人	聴取内容
平 29. 11. 21	徳島大学大学院 山中英生 教授	人と環境にやさしいまちづくり
平 30. 4. 27	理化学研究所 生命機能科学研究センター 網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー 高橋政代 氏	医療と福祉の一体化

[当局からの報告聴取]

- 平 29. 12. 18 「えき～まち空間」基本計画（案）、
新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通 5・6 丁目
再整備基本計画（案）について
- 平 30. 6. 5 新たな中・長距離バスターミナル整備の進捗状況、
「えき～まち空間」実現に向けた交通の考え方について

< 行政調査 >

平 30. 2. 1 ～ 平 30. 2. 2

調査先	調査内容
日産自動車株式会社総合研究所	将来のモビリティ社会について
東京都	都市づくりのグランドデザイン及び東京 2020 大会に向けた バリアフリー化の推進について

9 平成 28 年度の活動実績

これまでの委員会活動を踏まえたうえで、今後の神戸のまちづくりの方向性について、多角的な観点から理解を深めるため、参考人からの意見聴取及び委員間討議を行った。また、都心再生の取組状況について、関係局などから報告を聴取するとともに、公共交通や駅周辺整備に関する、民間企業や他都市における先進事例の調査を行った。

< 審査実績 >

[参考人からの意見聴取及び委員間討議]

開催日	参考人	聴取内容
平 28. 10. 24	株式会社デジタル・ラボ 代表取締役 永吉一郎 氏	若者に選ばれるまち
平 28. 11. 15	株式会社ライティングM 代表取締役 森秀人 氏	まちづくりの光を考える －『光の都』神戸の実現に向けて
平 28. 11. 22	兵庫県土地家屋調査士会 神戸支部長 樋口敦仁 氏ほか	三宮中心市街地の再整備 ～未来への提言～
平 28. 12. 20	奈良女子大学生活環境学部 中山徹 教授	人口減少時代のまちづくり
平 29. 1. 26	早稲田大学スポーツ科学学術院 原田宗彦 教授	未来に向けたスポーツ都市戦略

[当局からの報告聴取]

平 28. 8. 8 都心・三宮の再整備、部会の状況等について

平 28. 11. 15 都心・三宮の再整備に関するアクションプラン、
「えき～まち空間」基本計画作成業務委託プロポーザルについて

平 29. 1. 26 神戸三宮「えき～まち空間」基本計画について

平 29. 6. 5 部会の状況等、078 開催実績、
都心・三宮の再整備に関するロゴマーク投票について

< 行政調査 >

平 29. 1. 30 ～ 平 29. 1. 31

調査先	調査内容
西日本鉄道株式会社	天神高速バスターミナル、博多バスターミナルについて
広島市	広島駅周辺整備について

10 平成 27 年度の活動実績

神戸の都心の未来の姿〔将来ビジョン〕・三宮周辺地区の「再整備基本構想」の策定に関し報告聴取を行うとともに、都心三宮推進本部会議及び各部会における議論の方向性や進捗について審査を行った。さらに、市街地西部地域について、集中的な審査を行った。行政調査では、首都圏における再開発事業を中心に、官民にわたって調査するとともに、空間デザインに関する講演を聴取した。

< 審査実績 >

[当局からの報告聴取]

平 27. 6. 29 将来ビジョン（案）・再整備基本構想（案）等について

平 27. 8. 24 将来ビジョン（案）・再整備基本構想（案）に対する意見募集結果について

平 27. 9. 10 将来ビジョン・再整備基本構想合同報告会の開催について

平 27. 12. 22 都心の再整備に向けた取り組み及び市街地西部地域の活性化について

平 28. 5. 30 都心三宮推進本部、部会の状況等について

< 行政調査 >

平 28. 2. 1 ～ 平 28. 2. 3

調査先	調査内容
JTQ Inc. 谷川じゅんじ 氏	空間デザインについて
東日本旅客鉄道株式会社	丸の内駅前広場の整備について
森ビル株式会社	森ビルの街づくりの考え方について
川崎市	武蔵小杉駅周辺のまちづくりについて
渋谷区・東急電鉄株式会社	渋谷駅周辺の再開発について

11 平成 26 年度の活動実績

「神戸の魅力」「都心の魅力」「若者の集う街」「産業振興」という 4 つのテーマを設定し、参考人からの意見聴取や委員間討議を行うとともに、交通事業者（ＪＲ西日本・阪急電鉄）からの説明聴取や、渋谷駅中心地区再開発についての説明聴取及び実地視察を行った。これらの調査活動を踏まえ、全 18 項目からなる「神戸の未来都市創造に向けた提言書」をまとめ、市長に提出するとともに、市民報告会を開催した。

< 審査実績 >

[参考人からの意見聴取及び委員間討議]

開催日	参考人	聴取内容
平 26. 7. 10	神戸芸術工科大学 齊木崇人 学長	神戸の魅力
平 26. 9. 4	神戸フィルムオフィス代表 田中まこ 氏	都心の魅力
平 26. 11. 6	神戸電子専門学校 福岡壯治 校長	若者の集う街
平 26. 12. 8	神戸ファッションコンテスト審査委員長 齋藤統 氏	産業振興

[当局からの報告聴取]

平 26. 8. 7 将来ビジョン・再整備基本構想について

[提言についての委員間討議]

平 27. 1. 27、平 27. 2. 9

< 実地視察 >

平 26. 7. 18

調査先	調査内容
西日本旅客鉄道株式会社	駅ビル建替計画等

平 26. 7. 23

調査先	調査内容
阪急電鉄株式会社	駅ビル建替計画、市営地下鉄との相互乗入れ等

< 行政調査 >

平 26. 9. 8 ～ 平 26. 9. 9

調査先	調査内容
株式会社日本設計	三宮周辺の再整備
渋谷区等	渋谷駅中心地区再開発

< 提言書提出 >

平 27. 3. 24 提言書「神戸の未来都市創造に向けた提言書」を市長に提出

< 市民報告会開催 >

平 27. 5. 11 本会議場にて（市民 190 名が参加）

第 1 部 委員会活動報告、提言書の内容

第 2 部 パネルディスカッション（委員会が招致した参考人 4 名による）